

2.生涯スポーツの推進

基本方針

市民意識調査の結果から「スポーツを定期的に行っている市民の割合」は、約30%にとどまる一方で「スポーツを楽しむ環境整備についての満足度」は、比較的高い数値を示し、スポーツ愛好者とスポーツ環境の需給バランスが、現状ではほどよい水準にあることが推測されます。市民一人一人が、各自のライフスタイルに合わせてスポーツ活動を行う「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、スポーツ活動の場・機会・情報の提供を充実するとともに、スポーツ組織・団体の育成と相互の連携を図ります。これらの取組を進めることにより、「スポーツを定期的に行っている市民の割合」を高めていきます。



現状と課題

生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康を維持するという「生涯スポーツ」時代の到来を視野に入れ、多様なスポーツ・レクリエーション活動の充実・振興が求められています。そのために、様々なスポーツプログラムの提供、体育協会をはじめとする地域におけるスポーツ推進の中心となる市民団体の強化・育成などが必要です。

また、各体育施設や市民に開放している学校体育施設については、利用の利便性を向上させるとともに、施設の老朽化が進んでいることから、利用者の安全性を確保することを最優先に補修や改修についての検討を進めることが必要となっています。

施策指標

指標名	実績値			目標値
	H16	H17	H18	H24
情報提供、受付事務等IT化の整備率	—	19.7%	39.3%	100%
総合型地域スポーツクラブ設立件数	0件	0件	0件	3件
スポーツを定期的に行っている市民の割合	—	—	30%	50%

今後の取組

1 IT化による利便性の向上

スポーツ教室・大会行事の案内をはじめ、体育施設の利用状況照会から参加・利用申請・受付までをインターネットで行えるようシステムを構築します。

- イベント・施設利用のIT化

2 スポーツ団体の支援・育成

スポーツは、幅広い分野に多種多様な種目・競技があるため、その振興については経験者の協力が不可欠であり、体育協会をはじめとする関係団体との連携・役割分担が非常に重要になります。そのため、これら関係団体を強化し、支援していきます。

また、子どもから高齢者までが、世代を越え、それぞれの身体レベルで、様々なスポーツを気軽に楽しむことができる総合型スポーツクラブの育成を推進します。

- スポーツ団体の強化・支援・育成事業
- 地域総合型スポーツクラブの育成事業

3 体育施設の充実

地域が主体となった身近なスポーツの場として、学校体育施設の開放や営農スポーツ広場等の利用を更に促進します。各体育施設について、利用者の意見・要望を積極的に反映させるようにした機能的な運営を行います。

また、体育施設の中には、老朽化が進んでいるものがあり、利用者の安全性を確保するため、施設の計画的な補修・改修を検討します。

- 学校体育施設開放事業
- 営農スポーツ広場事業
- 体育施設の整備

4 スポーツ教室の充実

すべての市民が、年齢や生活環境に応じてスポーツ活動に親しむことができるように、スポーツ教室を開催します。市民ニーズを把握し、応募数や出席率を考慮するとともに親しみやすいニュースポーツ等を取り入れるなど内容の充実を図ります。

- スポーツプログラムの充実事業

市民等との役割分担

生涯スポーツ社会の実現に向け、生涯スポーツ普及推進ボランティアへ積極的に参加し、自主的・自発的な活動意識の高揚と地域の連帯感を持つことが期待されます。

各スポーツ団体は、市と積極的に連携・協力し、生涯スポーツの振興を図ることが期待されます。